

厚生文教常任委員会

町内福祉施設等物価高騰対応支援事業 健康課報告

8/19 物価高騰の影響を受けている介護サービス事業所のうち、県の支援金対象に該当しない事業所等がサービスを継続して実施できるよう、光熱費などの物価上昇分相当額の支援を行ったと報告を受けた。

〔対象事業者〕

介護保険サービス事業所及び施設 18事業所

障がい福祉サービス事業所 3事業所

総額約169万円 R7.6.20 全事業者に支払済み

※物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用



支給の区分

区分	サービス分類	電気の種類	単 価
入所系	認知症対応型共同生活介護	高圧	定員一人あたり 23,600円
		低圧	定員一人あたり 24,600円
通所系	地域密着型通所介護	高圧	定員一人あたり 8,700円
		低圧	定員一人あたり 8,300円
	地域活動支援センター	高圧	定員一人あたり 1,800円
		低圧	定員一人あたり 1,400円
訪問系	居宅介護支援	—	1事業所あたり 14,200円
	福祉用貸与 計画相談支援		



委員会
コメント

地域の皆さんへ発信！

経済状況の厳しさは未だに改善の兆しがみえない。

事業者が利用者へ安定したサービスを提供できるよう、今後も継続した支援を期待する。

医療費情報等分析 健康課最終報告

5/26 かねてより健康課医療費適正化推進室が実施してきた医療費情報等分析業務の最終報告会が行われた。

担当保健師より医療費の伸びの要因分析、介護給付費との関連分析、ポリファーマシー分析などの説明と、今後はこの分析結果をもとに医療費適正化推進計画を策定し、令和8年度からは、計画を基に新しい事業開始に向けて準備を進めると報告を受けた。



保健師による説明

今後のスケジュール

令和7年度計画											
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
令和7年度	医療費適正化計画策定			薬剤師会・薬局調査			事業予算化・契約				

令和8年度事業開始



委員会
コメント

地域の皆さんへ発信！

「今後の取組に期待」

住民の健康が損なわれて医療機関を受診する方が増加すれば、医療費は増大し、町財政に大きな影響を与える。策定される「医療費適正化推進計画」に期待したい。

総務建設常任委員会

令和6年度町税の調定額、収入済額及び収納率 税務課・企画財政課(収納対策室)報告

8/22 町税の調定額、収入済額及び収納率について報告を受けた。

町税の収納結果(令和6年度課税分 抜粋)

		調 定 額	収 入 済 額	収 納 率
町 民 税	個 人	1,504,813,021円	1,487,684,659円	98.86%
	法 人	312,996,600円	309,515,400円	98.89%
固定資産税		1,697,248,100円	1,686,466,660円	99.36%
軽自動車税	環境性能割	6,575,000円	6,575,000円	100.00%
	種 別 割	118,665,600円	117,345,099円	98.89%
町たばこ税		282,913,466円	282,913,466円	100.00%

令和6年度の収納対策は、動産の公売、ファイナンシャルプランナーによる納付相談、国民健康保険税収納対策アドバイザー共同設置事業、糟屋中南部6町職員や福岡県税務職員との合同捜索が行われ、収納率向上に努められている。

収納結果は上記のとおりとなった。



委員会
コメント

地域の皆さんへ発信！

令和6年度の収納率は、前年度からプラスとなった。納税者の個々の状況に応じた収納対策が講じられている。

引き続き、町民が相談しやすい環境となるよう努めてほしい。

期限までに納付しましょう。



いつ どこで どの方法で

納付されますか？

債券の購入による基金の運用 会計課報告

8/22 町基金の一部の資産運用について、報告を受けた。運用する基金は将来の庁舎建設に備えて積み立てられている「庁舎建設等基金」である。この基金から町が購入した債券については、安全性に十分配慮した地方債などを対象としており、債務不履行の可能性が限りなく低いものである。町は、基金を安全かつ効率的に運用し、歳入増に取り組まれている。

令和6年度は10年償還の債券を3件、7年度は10年償還2件と5年償還1件の債券を購入。運用の結果、7年度に約300万円の利息収入が歳入として得られる見込みである。

町の基金とは

特定の目的のためにお金を積み立てたり、財産を維持・運用したりする「積立金」のようなもの。

資産運用とは

手持ちの資金を投資などで効率的に増やす行為で、その運用手段としては、預貯金、株式、債券、投資信託などが挙げられる。

本町では、安全性を重視し、定期預金と債券購入により行われている。



委員会
コメント

地域の皆さんへ発信！

債券を購入することで、利息収入が得られ、歳入増額につながっている。今後も投資のリスクをよく検討し、資産運用に努めてもらいたい。